

令和2年度 白川郷学園学校運営協議会 「学校評価」

- ◎教育目標 「ひとりだち」 ～自立 共生 貢献～
 ◎共通指導理念 誰もが輝く学校 ひとりだちの力を育む教育
 ◎地域との共通の願い「将来の担い手育て」～ふるさとへの熱い思いを胸に白川村に貢献できるひと～

「評価」欄の数字を○で囲んでください。4:十分 3:ほぼ十分 2:やや不十分 1:不十分

| 対象 | 評価項目 | | | | 評価 | 前回 | | |
|---------|--|---|-------|-----|-----|--------|------|-----|
| 学校の姿 | ① | 学校の教育方針は、保護者や地域の方に分かりやすく説明され、学校は、子どもの教育に熱心に取り組んでいますか。 | | | | 3.8 | 3.6 | |
| | ② | 学校の様子や連絡は、学校便り・学級通信等により、分かりやすく伝えられていますか。 | | | | 3.8 | 3.7 | |
| | ③ | いじめ事案、不登校・不適應について学校の対応は、適切ですか。 | | | | 3.1 | 3.5 | |
| 子どもたちの姿 | ④ | 子どもたちは、家庭・地域で『あいさつ』ができていますか。 | | | | 2.4 | 2.8 | |
| | ⑤ | 子どもたちは、話をよく聞き、意欲的に授業に取り組んでいますか。 (参観授業を参考にして下さい。) | | | | 3.5 | 3.4 | |
| | ⑥ | 子どもたちは、家庭学習に進んで取り組んでいますか。 | | | | 3 | 2.9 | |
| | ⑦ | 子どもたちは、地域・家庭で「あたたかい言葉」をつかっていますか。 | | | | 3.1 | 3 | |
| | ⑧ | 子どもたちは、安全で正しい登下校をしていますか。 | | | | 3.3 | 3.7 | |
| | ⑨ | 子どもたちは地域において、掃除など分担された仕事に進んで取り組んでいますか。 | | | | 3.6 | 3.3 | |
| | ⑩ | 子どもたちは、進んで運動・遊びに取り組んでいますか。 | | | | 3.5 | 3.25 | |
| | ⑪ | 家庭・地域・学校が協働で進めている「伸ばしたい6つのちから」は身につけていますか。 | 確かな学力 | 3.3 | 2.9 | やりきる力 | 2.9 | 2.8 |
| | | | 判断力 | 3 | 2.8 | 自主性 | 3.4 | 2.9 |
| | | | 向上心 | 3.2 | 3.1 | 礼儀やマナー | 3.1 | 2.9 |
| ⑫ | <p>「伸ばしたい6つのちから」(確かな学力・やりきる力・判断力・自主性・向上心・礼儀やマナー)を高めるため、学校運営協議会員または地域住民として心掛けていることをお書きください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分から進んで挨拶する。 ・子どもの良いところを見つけて伝える。 ・すぐに手を出さずに見守ることが大切だと思います。 ・登下校時のあいさつ <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちを見たら、少しでも声かけをする。 ・積極的に声をかけたり、褒めたりしている。 ・最初から教えることはせず、まず自分で考えてやらせてみます。 ・子どもたちに会ったときは、必ず笑顔で話しかけるようにしている。 ・頑張ったことをほめるようにしている。 | | | | | | | |
| 教職員の姿 | ⑬ | 教職員は、一人ひとりに応じて子どもに接していますか。 | | | | 3.6 | 3.6 | |
| | ⑭ | 教師は、一人ひとりを大切にしたい分かりやすい授業をしていますか。 | | | | 3.6 | 3.6 | |
| | ⑮ | 教職員は、誠実な対応、ていねいな言葉づかいをしていますか。 | | | | 3.7 | 3.8 | |
| | ⑯ | 教職員は、家庭や地域と連絡を取り合っていますか。 | | | | 3.5 | 3.7 | |
| 学校環境 | ⑰ | 学校の学習環境や施設は、子どもたちが安心・安全に生活できるように整っていますか。 | | | | 3.9 | 3.7 | |

| | | | |
|-----|---|-----|-----|
| 行事等 | ⑱ 学校行事・学年行事は、内容が適当ですか。 | 3.3 | 3.6 |
| その他 | <p>⑲ 子どもたちの様子，子どもたちを取り巻く地域の様子，学園に対する地域の声等，お気づきの点についてお書きください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつできる子どもが少ない(自らする子) ・不登校や授業を受けられない子どもの対応について(学校側も難しいと思いますが) ・ふれあい運動 → 地域の見守りがありがたい。 ・朝、バス停の見送りで、子どもたちを見かけるだけで寂しい。 ・地域として子どもたちと関わりを多くもてる継続的な行事等、企画できないかと思っています。(コロナで恒例の行事も行えなかった今年が悔しいです) ・うつむき気味に登下校している子を見かけます。大丈夫かな？ ・コロナ対策しながら、子どもたちに必要な教育を苦勞、工夫されていることが、よく伝わってきました。社会、日常で活かされる学びはよく実践されているよと思います。 ・家庭学習の質を高めるアイデア、実践力を高めて、確かな学力を向上することは課題かと感じます。 | | |